

行政視察実施報告書

視察等における結果について、下記のとおり報告します。

令和8年7月15日

光市議会議長 森 戸 芳 史 様

光市議会議員 仲小路 悦 男

(会派こう志会に同行)

記

1 日程 令和8年7月3日（金）～4日（土）

2 場所

（1）東京都立川市泉町

（2）東京都立川市上砂町

3 テーマ

<行政視察>

委員会のオンライン出席制度について（立川市）

ふじようちえんの教育理念と施設について（ふじようちえん）

4 視察結果 別紙のとおり

視察結果

日 時	令和 8 年 7 月 3 日 (金) 14 時 30 分～15 時 30 分	
場 所	東京都立川市役所	
テ ー マ	委員会のオンライン出席制度について	
対 応 者	立川市議会事務 竹内佳浩次長 立川市議会事務 議事係 中村孝史係長	
		会派 こう志会に同行

＜立川市の概要＞

立川市は東京都のほぼ中央、多摩地域を中心に位置する人口 186,076 人・97,400 世帯（令和 6 年 4 月 1 日時点）、面積 24.36 平方キロメートルのまち。JR 中央線や多摩モノレールが交わる交通の要衝として発展し、立川駅周辺には百貨店やオフィスビルが立ち並ぶ一方、国営昭和記念公園をはじめとする豊かな緑にも恵まれている。

＜内容＞

令和 2 年、新型コロナウイルス対策として総務省が委員会のオンライン会議を容認したことを契機に、立川市議会では委員会のオンライン出席制度の検討が始まった。当初は一般質問の文書化や委員会質疑時間の短縮で対応していたが、濃厚接触による出席制限が課題となり、行政手続きのオンライン化を求める声が高まった。

令和 4 年 4 月、議会運営委員会で感染症対策を主目的にオンライン出席の検討を開始。同年 6 月の選挙後に再開し、出産を控えた女性議員の状況を踏まえ、男性議員から対象に出産・育児を加える提案がなされた。最終的に感染症・災害に加え、出産・育児も対象とすることで合意。有志の会の議論を経て介護も含める方針で「とにかくやってみよう」とまとまった。

制度の趣旨は、やむを得ない事情で参集困難な場合に委員の発言機会を確保すること。義務化はせず、希望する議員が活用可能。現時点では委員会のみ対象で、年間実績は 1 件。出産前 6 週間、出産後 8 週間の欠席事由を別途規定し、オンライン出席の圧力とならないよう配慮している（病気は対象外）。

1. 規定（例規）整備・運用ルール

他議会事例（都道府県議会デジタル化専門委員会資料、大阪府、鳥取県、三重県）を参考に条例・要綱を作成した。会議規則を改正し、出席委員にオンライン出席委員を含む旨を明記、評決に関してもオンライン出席委員が参加可能とする但し書きを追加した。

実施要綱では、オンライン出席希望者は開催日前日正午までに委員長へ申請書を提出することとし、委員長は通信状況悪化等の際に当該委員を離席とみなす権限を持つ。秩序を乱す行為があれば音声・映像の接続を切断できる。

出席・本人確認は前日・当日に映像と音声で行い、両方確認できた場合に出席扱いとする。採決時も映像＋音声で確認し、音声で異議の有無を再確認する。通信障害発生時は原則退席扱いだが、発言中は委員長判断で休憩を挟む場合がある。

2. 実施環境・機器構成・費用と運用工夫

議員には以前から iPad が配付されており、資料閲覧との併用のため追加機器は各自準備する。事務局側で Web 会議用 PC2 台、カメラ、モニター、デジタルミキサー、レベルコンバーター等を整備し、工事費込み約 286,000 円。執行部保有機器を活用し事務局職員が準備・運用している。Wi-Fi は議会関係会議室に整備（庁舎全館ではない）。PC2 台で共同主催者用の映像確認を冗長化し、代替連絡は携帯電話とする。1 台のカメラで委員長、もう 1 台で委員会室全体を映し、オンライン出席者が双方を確認できるようにしている。

3. 体験会・運用改善

各常任委員会で体験会を実施しアイデアを集約。育児中の委員の急な離席を考慮し、意思表示にチャット機能を活用し、本番運用でも採用している。委員長は冒頭にオンライン出席者の発言意向を確認し、発言順は「随時」対応としている。

4. 実施状況・結果・導入効果

令和5年6月、厚生産業委員会で出産した委員がオンライン出席（多摩地域で初）。委員会室にオンライン出席委員の顔を映す大型モニターを設置し、委員長席では委員会室全体・委員長席・オンライン出席者の3映像を確認しながら進化した。

オンライン出席委員の所感「委員会室の雰囲気は少し掴みにくいが、質疑のやりづらは特段なし」。他の委員・説明員も問題なしとの感想で、委員長は事務局サポートによりスムーズに進進できたとしている。発言機会の確保に一定の効果があり、災害時・感染症流行時の備えとして有効との認識だが、育児・介護による欠席の大幅減や若年層の議員就任促進効果は未確認である。

5. 課題認識・未決事項

オンライン出席者は休憩中のオフライン協議へ参加困難（配信マイクをオフにするため）で、現状対応は見送られている。通信途絶で回復見込みがない場合はオンライン出席不可とする運用だが、退席扱いの閾値や回復待ち時間、採決中の中断条件など扱い基準の明文化が必要である。本人確認の厳格化も課題で、顔・声の変装技術の進化によるリスクを踏まえ、性善説依存の低減が求められる。準備に手間がかかり運営効率化は限定的で、チャットの継続運用や発言管理（挙手機能、ピン留め）の最適化も検討余地がある。介護を認める具体的判断基準の明確化も未了である。

＜質問＞

Q1. 導入の契機は何か。

A1. 令和2年の新型コロナウイルス感染症対策として総務省が委員会のオンライン会議を容認したことが契機。当初は一般質問の文書化等で対応していたが、出席制限の課題を受け令和4年度から本格検討を開始した。

Q2. 対象事由はどのように設定しているか。

A2. 感染症・災害に加え、出産・育児、介護も対象とした。出産前6週間・出産後8週間は別途欠席事由とし、オンライン出席への圧力とならないよう配慮している。病気は対象外である。

Q3. 整備費用はいくらか。

A3. Web会議用PC2台・カメラ・モニター・デジタルミキサー・レベルコンバーター等の整備で工事費込み約286,000円。執行部保有機器を活用し事務局が準備・運用した。

Q4. 本人確認や採決はどのように行うか。

A4. 前日・当日に映像と音声で本人・出席確認を行い、採決時も映像＋音声で異議の有無を確認する。通信障害時は原則退席扱いとするが、発言中は委員長判断で休憩を挟む場合がある。

Q5. 導入実績と効果は。

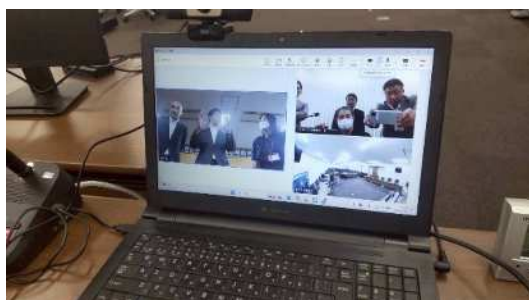
A5. 令和5年6月、厚生産業委員会で出産した委員がオンライン出席（多摩地域で初）。発言機会の確保に一定の効果があり、災害・感染症流行時の備えとして有効との認識だが、育児・介護による欠席の大幅減や若年層の議員就任促進効果は未確認である。

Q6. 主な課題は何か。

A6. 本人確認の厳格化（なりすまし対策）、通信障害時の扱い基準の明文化、休憩中のオフライン協議への参加方法、介護適用の具体的判断基準の策定などが未了である。

Q7. 今後の予定は。

A7. 年内（2026年12月末）までに委員会オンライン運用の評価報告を作成予定。本人確認手順の強化、通信障害時の扱い基準の明文化、発言管理ルールのマニュアル化、市民向け周知の強化、介護適用の判断基準の策定等に取り組む。



<所感>

議会におけるオンラインの活用は、様々な状況に対応できる重要な方法と考えられます。本会議においては、採決に参加することは地方自治法よりできませんが、委員会については可能となっています。立川市では、新型コロナウイルス感染症対策を契機として、オンライン出席制度の検討が始まりました。その後、令和4年に本格的な検討となり、出産・育児を含めたオンライン出席について、既定や運営ルールの見直し、機器の整備など細かな対応がなされ、1年後の令和5年に実施されました。このように必要に応じて、即座に対応できる体制に感銘しました。オンラインへの検討の前に、様々な、困難を一つ一つ解決するために、議員、事務局の前向きな姿勢に学ぶことが大いにあります。現在、光市議会においては、議会内会議、意見交換会、行政視察においては、オンライン会議は可能となっていますが、委員会については今後の課題としておかねばならないと思います。

日 時	令和 8 年 7 月 4 日 (土) 10 時～10 時 40 分	
場 所	東京都立川市 ふじようちえん (学校法人 みんなのひろば ふじようちえん)	
テ ー マ	ふじようちえんの教育理念と施設について	
対 応 者	学校法人 みんなのひろば ふじようちえん 加藤積一理事長	
		会派 こう志会に同行

<ふじようちえんについて>

ふじようちえんは東京都立川市上砂町に位置する、学校法人みんなの広場が運営する幼稚園である。富士幼稚園（満 3～5 歳、約 660 名）と 4 つの保育園を合わせて法人全体で約 1,100 名の子どもが在籍し、職員は約 210 名。2007 年竣工の園舎は建築家・手塚貴晴＋手塚由比夫妻（手塚建築研究所）と池田昌弘氏（構造）の設計、竹中工務店の施工によるもので、外周約 183m・内周約 108m の楕円形をしたドーナツ状の屋根（ウッドデッキ）が特徴。建て替え前からあったケヤキの大木 3 本を屋根に貫通させて保存している。日本建築学会賞（作品賞）、キッズデザイン賞金賞（経済産業大臣賞）、グッドデザイン賞インタラクショナルデザイン賞など多数の賞を受賞している。

1. 教育理念

理念の核は「幸せな未来を作る教育」であり、「思いやりがあって自立した子ども」の育成をゴールとする。「見て・感じて・考えて・行動する」という体験のサイクルを子ども自身が回すことを最重要視し、体験は教えられるものではなく遊びの中で自ら掴むものと位置づける。「先生がいて子どもがいて教える」という約 150 年続く教育モデルからの変革の必要性を指摘している。

2. 建築・デザインと教育的意図

建築を「子どもが育つための道具」と位置づけ、ロゴデザインを佐藤カシワ氏、建築を手塚夫妻が担当。「状況をデザインする」という思想に基づき環境を構築している。京都大学・川上教授が提唱する「不便益（不便による利益）」の概念を導入し、意図的に不整地とした園庭で転倒・よろけの体験を通じてバランス感覚・体幹・注意力を育て、板一枚の仕切りで実社会に近い集中力を養い、隙間のある戸で「きちんと閉める」という自己規律を促し、流し台のない水場で水を出しっぱなしにしない自己制御を育てている。

3. モンテッソーリ教育と具体的活動

モンテッソーリ教育を基本とした自由保育を実践。保育室スマイル X では 0 歳から月齢に合った教具に触れる環境を整備。砂場での石並べ等の遊びを通じて秩序感・達成感を育て、砂場の石拾いでは「取れた子は取れなかった子に分ける」という唯一のルールで欲を肯定しつつ他者配慮の心を育てる。室内では上履きを使わず足裏の筋肉と土踏まずの形成を促す「足育」にも取り組み、園児の歩数は一般的な幼稚園の 3 倍というデータもある。

4. 食育と英語教育

自園農園「スマイルファーム」で無農薬野菜を栽培し給食に使用、全園児が芋掘り等の収穫体験を実施。給食は和食中心・化学調味料不使用・無添加を基本とする。英語教育では「日本のことを英語できちんと話せる日本人」の育成を目指し、4 歳から小学 6 年まで続く独自カリキュラムを導入している。

5. 育児観・保護者への姿勢

現代の「失敗しないハウツー」偏重に疑問を呈し、幼児期にはハウツーを伝えすぎず、子ども自

身が「何をやりたいか (To do)」を見つけることを重視する。保護者向け配布資料は写真中心で文章を減らし、多忙な保護者が直感的に理解できるよう配慮している。

質問

Q1. 教育理念の核心は何か。

A1. 「幸せな未来を作る教育」を理念に掲げ、「思いやりがあって自立した子ども」を育てることをゴールとする。「見て・感じて・考えて・行動する」という体験のサイクルを子ども自身が回すことを重視している。

Q2. 「不便益」とはどのような考え方か。

A2. 京都大学・川上教授が提唱する概念で、あえて不便な環境を用意することで得られる利益を指す。園庭の不整地化や板一枚の仕切り、隙間のある戸、流し台のない水場など、意図的な不便さを通じて子どもの自己制御・問題解決能力を育んでいる。

Q3. 園舎の設計者と建築的特徴は。

A3. 建築家・手塚貴晴＋手塚由比夫妻（手塚建築研究所）と池田昌弘氏（構造）が設計。外周約183mの楕円形ドーナツ状の屋根を持ち、既存のケヤキの大木3本を屋根に貫通させて保存している。日本建築学会賞など多数の賞を受賞。

Q4. 保育の基本方針は何か。

A4. モンテッソーリ教育を基本とした自由保育。人格形成を基盤に、人・社会・自然との関わりの中で自立心を育んでいる。

Q5. 食育・英語教育の内容は。

A5. 自園農園「スマイルファーム」での収穫体験と和食中心・無添加の給食を実践。英語教育は4歳から小学6年まで続く独自カリキュラムで、日本文化を英語で語れる人材育成を目指す。

Q6. 保護者への向き合い方で工夫している点は。

A6. 「失敗しないハウツー」偏重に疑問を呈し、子ども自身が「やりたいこと」を見つけることを重視。配布資料も写真中心で文章を減らし、多忙な保護者に配慮した設計としている。

Q7. 法人全体の規模はどの程度か。

A7. 富士幼稚園（約660名）と4つの保育園（計約400名）を合わせて法人全体で約1,100名の子どもが在籍し、職員は約210名。





＜所感＞

モンテッソーリ教育は子どもを観察することによって見出された事実に基づく科学的な教育法であり、基本的な考え方は、子どもには生来、自立・発達していこうとする力があり、それが発揮されるためには発達に見合った物的環境、人的環境が必要です。そこで、大人がすべきことは、子どもに教え込むことではなく、子どもの発達がどのような形ですんでいくかを知り、子どもを観察し、環境を整えることです。全国には200園ほどモンテッソーリ教育を実施していると言われていますが、これを基本に様々なアイデアを取り入れているのがふじようちえんです。理事長自らの工夫はもとより、多くの人の新しい知恵を常に取り入れていることに注目しました。円形の園舎、でこぼこの園庭、流し台のない蛇口、雨水の流れ落ちる軒などです。モンテッソーリ教育を実施するためには、知識と経験が必要であり、光市の幼児教育に取り入れる可能性を考えてみたいと思います。